

cure  
moon  
dog

Rip@Lip

For Adult only



盗賊 「へへっ…これが王女様のお○んこかあ」

王女 「！？やあっ…なにを…っ」

盗賊 「おっと暴れるなよ？ちょっとお前を連れてこいって言われてなあ」

王女 「どうして…私を…きやあっ！」

ビリビリビリッ！！

盗賊 「ほほお綺麗な乳首してんじゃねーか…連れて行く前にちょっと俺たちと遊んでもらおうかねえ」

王女 「や…めて…はああ…ん」

盗賊 「おやあ？変な声出して奥の方濡れてきてねえか？でかい乳揉まれただけで感じちまったか？」

王女 「くふ…う んん…っ」

も  
み

く  
ち  
ゅ

ち  
ゅ  
く

盗賊 「んじゃ…王女様の綺麗なま〇この具合を  
堪能させてもらうぜえ」

王女 「!っやあつ! や やめ…はあううっ」

ちゆく…ズププッ…


盗賊 「おっく…今まで犯してきたどの女よりも  
気持ちいいぜえ」

じゅぷっ じゅぷっ じゅぷっ

王女 「は…っあ ああつ!  
だ…めえ 動か…ない…で」

盗賊 「へへ…こんなに自分から締め付けて  
きやがるくせに何言ってんだ…う…  
もう出ちまう」

王女 「!! ひあつ…中はだめっ…  
んんあああつ!」



盗賊 「よし次は俺のを突っ込んでやるぜっ…」

ヌプププッ！！

王女 「やあつ！！ま…また入って…はうん」

盗賊 「犬になってただけあって後ろから突くとい声で鳴いてくれるじゃねえか」

ズプッ！ズプッ！ズプッ！

王女 「あつあ んあつあ！も…もうだめえ…ッ」


盗賊 「くっ 精液好きだろお？  
一番奥に流し込んでやるよっ」

王女 「やあつ！ ああああああつ！！」

ドピュッ！ビュルッビュルッ！

盗賊 「…？なんだ 気絶しちゃったのか？  
ククッ…そんなんじゃ良い犬奴隷に  
なれないぜ…」

どろりゃん



王女 「…ん…あ…？」

商人 「やっとお目覚めですか？」

王女 「ッ！？ここは…？」

商人 「くく…ここは闇商人の  
密売所です…たった今  
あなたは私に買われたんですよ」

王女 「な…買ったって…そんな」

商人 「あなたには随分高額を支払いました  
からねえ…たっぷり稼がせてもらいますよ  
…肉奴隷としてね」

王女 「っ…！なにを勝手なこと…！」

商人 「おやおや…まだそんな口が叩けますか  
…では自分が発情した犬奴隷だと  
自覚してもらいましょう」

王女 「やあ…な…何を…！！」



王女 「いっ…いやあああっ!？」

商人 「くっ…どうですか？私のペットに  
カラダを貪られる気分は？」

王女 「あ…ひうっ…そこは…ああ!!」

商人 「おやおや…こんなに蜜を漏らして…  
どれこっちからも攻めてあげましょう」

ヌプッ…ヌププッ!!

王女 「!っはあ…!! ああんツ」

商人 「…すごい締め付けですねえ…  
これなら良い商品になりそうです」

王女 「…っあ…はあっ お…願い  
抜いて…っ」


商人 「くく…何を言ってるんですか  
商品の分際で！」

ジュプッ!ジュプッ!ジュプッ!

王女 「んはあっ!あっ…んああっ!!」

じゅ  
ぷ  
っ

じゅ  
ぷ  
っ



商人 「くくく…カラダは正直ですねえ  
こんなに熱くほてってクリもどんどん  
腫れ上がってますよ…っ」

王女 「やあああ…っ 言わないで…っ」

商人 「こっちは動かすたびにパクパクと  
物ほしそうにしてるじゃないですか？  
もっと奥まで…っ」

ジュププッ！ジュプッジュプッ！

王女 「ひいやああっ！ああっ…はっあ」

商人 「…このまま中に出したらどんな表情  
をみせてくれるんでしょうねえ…？」

王女 「だ…め…だめえっ」

ズビュッ！ビュビュッ！！

王女 「ん…っ んああああっ！！」

どく、

びゅ

びゅっ

ぬち

ぬち



男 「さあて今度は俺たちが遊んであげるからねえ〜」

ズブ……ッ ズプッズプッズプッ

王女 「んあっ……はあああ……っ き……きつ……」

男 「おら 両手が空いてんじゃねえか……  
しっかりシゴかねえと終わらねえぜ？」

王女 「ひやあっ あっ そ……んなに動いたら……  
はあああっ」

男 「くへへ……お前はもう俺たちに遊ばれる  
肉奴隷なんだよッ」

じゅぶっ！じゅぶっ！じゅぶっ！

王女 「やああっ！！な……中ですご……っ  
びくびくして……きちや……うううっ」

ビュクッ！ビュクッ！ビュクッ！！

びしょ

びしょ





ズビュッ!ビビュッ!!

男 「ふ〜っ…もうこれ以上出ねえな…」


王女 「はあっ…はあ…はあ…」

男 「くっ…一国の王女様が惨めな格好  
だぜ…」

商人 「これでわかったでしょう?あなたは  
もう性欲に任せていやらしく鳴く犬奴隷  
なんですよ」

王女 「っ…く…ぐすっ…」

商人 「おやおや…まあ今のうちに泣いて  
おきなさい…明日からはもっと大勢  
の男を相手にしてもらうんですからね…」



商人 「さあさあ皆さんお立ち寄りください！  
犬王女様の奴隷ショーの始まりです！」

客 「ほお～これがあの元王女様の  
成れの果てかよ・・・」

客 「げへへ・・・城も潰されて王女様には  
不憫だが俺たちが可愛がってやるよ」

商人 「さあミルクの時間は終わりだ・・・  
お客さんにどうしてほしいか言ってみなさい」

王女 「んあ・・・？あ・・・お・・・ち○ぽ・・・  
ほしい・・・ですうっ」

客 「おうおう・・・四つんばいでもうこんなに  
グショグショじゃねえか・・・こりゃあ  
とことんお仕置きが必要だなあ？」

ちゅん  
ちゅん

ジュグッ!ジュグッ!ジュグッ!

客 「どうだ王女様ア!?犬みたいに  
後ろから突かれるのはあ!？」

王女 「はっあ!あっ…き…気持ちいい  
ですう!もっとメチャクチャに突いて  
くださいい!!」

客 「ははっ…すげえぜ本当に犬みたいに  
発情しやがって…この淫乱王女が!」

パンッ!パンッ!パンッ!

王女 「んあ…イク…いく…っ!もう  
わたしいっ」

客 「くくッ…中に出すぞ…ッ  
発情犬に種付けしてやる…ッ!!」

ドプッ!!ブビュッ!ビュッ!

王女 「!!っんっあああああああっ!!」

ぐちゃっ  
ずちゃ

おい王女...お前  
また犬に戻り  
そうになってるぞっ

うう...!!

ひびく!!

ああっ♡

しかし...  
随分長引くかな  
ハーゴンの呪いも

だっ...  
だめだっば

くちくち

うわ...!!  
上からでも落とさ  
るの分かるぜ??

お前また発情...  
うんうん

だめじゃなーい  
ちゃんと見せまみな

すっ



安心しろお母  
気がすむまで  
突いてやるからわっ

おん  
おん

わん  
わん

おん  
おん

あ  
あ

はっ  
はっ

す  
す

ぐ  
ぐ

んおん...おんおん  
締めつけられる...

穴かかれながら  
しっぽ握られて  
よがりまくってる  
じゃねーか?

ピク

ピク

きゅん!

ん...ああ

ぬぶ

ぬぶ

ナツキから糖  
ぶんぶんおんおん

きゅん

あ

ぐ  
ぐ

あ  
あ

ん  
ん

まだいくなよー?  
勝手にいったら最後まで  
してやらないぞ。

ぐ  
ぐ



ズチュ

おーし...  
ズチュ  
ズチュ  
ズチュ

ふぁっ

ん♡

ズチュッ

ズチュッ  
ズチュッ  
ズチュッ

ビクッ

ビクッ

ん♡

はぁっ

おいおい...自分から  
腰振ってねーか?  
ちっほ我慢してたんだな

はぁっ

んはぁっ...  
なかにほしころ...

クニ  
クニ

あっ

ん♡

ズチュッ

キッ

キッ

ん♡  
ズチュッ  
ズチュッ  
ズチュッ

ズブッ  
ズブッ



あ あ あ あ あ

びしょ

びしょ

ドブ

ドブ

ドブ



王女の中で  
出てるのわかるか？

発情おさまった  
みたいだなー  
よかったじゃん

また我慢でき  
なくなったら  
いつでも言えよー？

フニョ

フニョ

フニョ

フニョ...



## あとがき

こんにちは、水原優です。  
2009年最初の同人誌を手にとってください、  
ありがとうございます！  
王女を描くのは2回目ですが前回より  
犬耳を多目にしてみました。

正月明けから案の定だらだらと  
過ごしてしまってようやく正月ボケが  
抜けていたといった感じです。  
次回イベントは落とさないように  
頑張りたいと思います。

では、今年もRip@Lipを  
よろしくお願い致します。

### Special Thanks

★CG彩色★ 水涼  
★デザイン★ mimu  
★文字効果★ あすまん

### ■奥付■

発行

Rip@Lip

発行日

2009/3/20

印刷

関西美術印刷様

Rip@Lip ホームページ

<http://riplip.sblo.jp/>



Rip@Lip

For Adult only